

# ③0 急性副鼻腔炎について

## 117C23

116E39→117C23の流れで問題は作られていて、117C23をもう少し難しくした問題が105F8。

117C23は単なる解剖学の問題かと思いきや、急性上顎洞炎というテーマで臨床問題と直結しています！

急性副鼻腔炎の中でも上顎洞炎と篩骨洞炎はその位置の違いによって症状が異なります！

116E39は112B13を参考にして作成されていそうですね！

118回予想

**118回では上顎洞炎が出題されると予想します！**

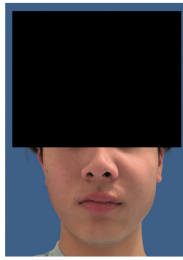
- ✓ 上顎洞は視神経と離れているので、上顎洞炎の炎症が視神経に波及して視力低下をきたすことは少ない。
- ✓ 一方で、上顎洞は歯に近いため上顎洞炎では歯の痛みが出るのが特徴的である。
- ✓ また、虫歯や歯周病が原因となって歯性上顎洞炎を発症することがある。

# 116E39

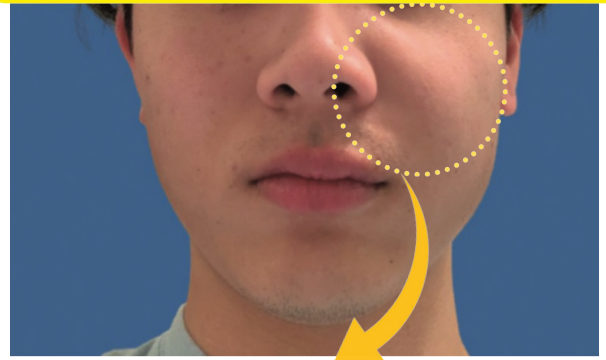
39 21歳の男性。左頬部の痛みを主訴に来院した。1週間前から咽頭痛、鼻汁があり3日で改善した。昨日から左頬部の痛みと圧迫感、浮腫が出現し、増悪してきたため来院した。既往歴に特記すべきことはない。体温36.5℃。脈拍80/分、整。血圧106/76 mmHg。呼吸数14/分。鼻鏡検査で左中鼻道に膿性鼻汁を認める。顔面の写真(別冊No. 4)を別に示す。

この時点でみられる可能性が最も低いのはどれか。

- a 菌痛
- b 鼻閉
- c 上顎痛
- d 嗅覚低下
- e 視力低下



## 左上顎膨隆→急性上顎洞炎



鼻鏡検査で左中鼻道に膿性鼻汁を認める。

# 117C23

23 上顎洞が開口するのはどこか。

- a 嗅裂
- b 上鼻道
- c 中鼻道**
- d 下鼻道
- e 上咽頭

✓116E39→117C23の流れで問題は作られていて、117C23をもう少し難しくした問題が105F8。  
 ✓117C23は単なる解剖学の問題かと思いきや、急性上顎洞炎というテーマで臨床問題と直結しています！

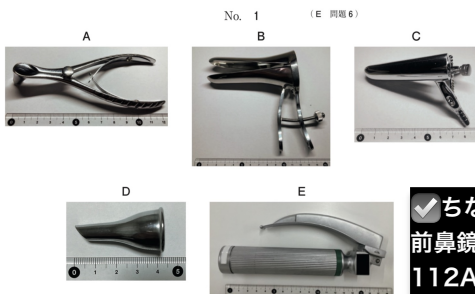
上顎洞が開口するのは中鼻道なので、急性上顎洞炎では中鼻道に膿性鼻汁が流出する。

# 117E6

6 写真(別冊No. 1A~E)を別に示す。

気管挿管に用いる器具はどれか。

- a A
- b B
- c C
- d D
- e E**



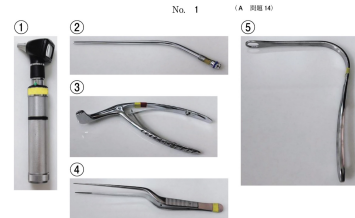
✓ちなみに117E6の選択肢には前鼻鏡が登場しています！  
 112A14とは撮影している方向が違いますがどちらも前鼻鏡です！

# 112A14

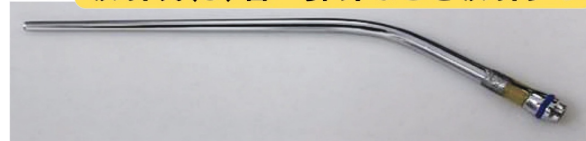
14 診察器具の写真(別冊No. 1 ①~⑤)を別に示す。

成人に対して鼻処置を行った上で、鼻腔から上咽頭、喉頭にかけて内視鏡検査を実施する際に使用する器具はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②**
- c ③**
- d ④
- e ⑤



② 吸引嘴(シ)管←鼻汁などを吸引する



③



前鼻鏡←鼻孔を広げる

肉眼で観察したり、内視鏡のファイバーを挿入しやすくする





# 96D12 「齲齒(うし)=虫歯→歯性上顎洞炎→脳膿瘍」という流れ

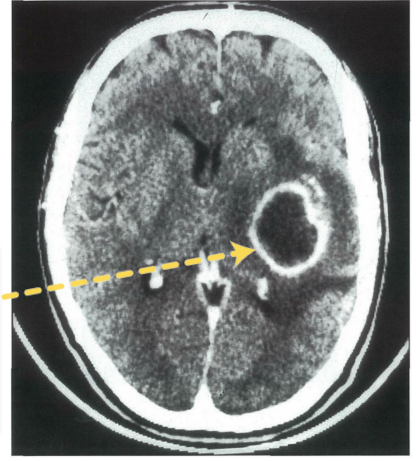
12 48歳の男性。昨夜から頭痛の悪化、嘔吐および意識障害がみられるようになったため救急車で搬入された。1か月前から上顎の齲齒のため鈍痛が持続していた。4日前から発熱、顔面痛および頭痛を自覚していたが放置していた。意識は昏迷状態で項部硬直と右不全片麻痺とを認める。頭部造影CT(別冊No. 9)を別に示す。

No. 9 (D 問題12)

この脳病変を最もきたしやすいのはどれか。

- a 鼻茸
- b 慢性鼻炎
- c アレルギー性鼻炎
- d 鼻中隔彎曲症
- e 急性副鼻腔炎**

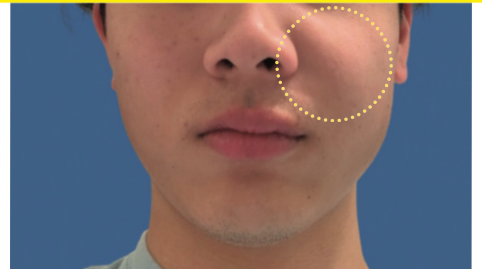
ちなみにリング状造影効果を示すものとしては脳膿瘍・膠芽腫・転移性脳腫瘍が代表的である。



# 116E39 急性副鼻腔炎(上顎洞炎) 上顎洞は歯に近い←虫歯や歯痛と関係

左上顎膨隆→急性上顎洞炎

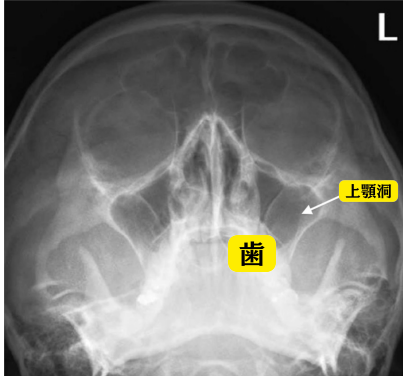
39 21歳の男性。左頬部の痛みを主訴に来院した。1週間前から咽頭痛、鼻汁があり3日で改善した。昨日から左頬部の痛みと圧迫感、浮腫が出現し、増悪してきたため来院した。既往歴に特記すべきことはない。体温36.5℃。脈拍80/分、整。血圧106/76 mmHg。呼吸数14/分。鼻鏡検査で左中鼻道に膿性鼻汁を認める。顔面の写真(別冊No. 4)を別に示す。



この時点でみられる可能性が最も低いのはどれか。

- a 歯痛
- b 鼻閉
- c 上顎痛
- d 嗅覚低下
- e 視力低下**

出典:第63回診療放射線技師国家試験問題 午後83問目



- ✓ 上顎洞は視神経と離れているので、上顎洞炎の炎症が視神経に波及して視力低下をきたすことは少ない。
- ✓ 一方で、上顎洞は歯に近いため上顎洞炎では歯の痛みが出るのが特徴的である。
- ✓ また、虫歯や歯周病が原因となって歯性上顎洞炎を発症することがある。

この時点でみられる可能性が最も低いのはどれか。 **e 視力低下**

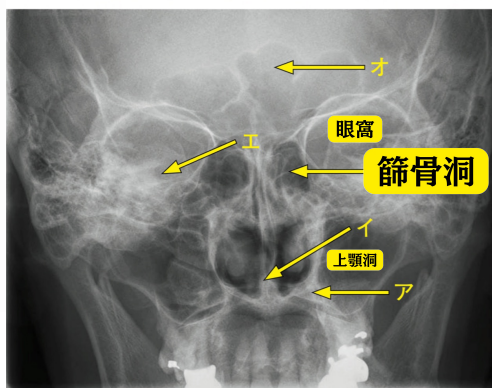
# 112B13 急性副鼻腔炎(篩骨洞炎) 篩骨洞は眼に近い←視力低下に注意

13 急性副鼻腔炎の症状のうち、緊急手術の必要性を示唆するのはどれか。

**d 視力低下**

- a 鼻閉
- b 頬部痛
- c 膿性鼻汁
- d 視力低下**
- e 嗅覚低下

No. 1 (問題79)



出典:第65回診療放射線技師国家試験問題 午後79問目

✓ 眼に近接する篩骨洞炎では炎症が視神経に波及して視力低下をきたすことがあり、この場合には緊急手術が必要になる。